



福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう126

アオジ

分類 スズメ目 ホオジロ科

住んでいる環境

・低木のある草地や、林、やぶの中など

見られる時期

・10月～3月

小鳥の森で見られる場所

・暗い環境（やぶの中など）



めいさん（11才）が描いてくれました。

10月 いきもの森予報

カモのエサの食べ方の違い

10月に入ると秋が一段と深まってきます。小鳥の森の水辺ではカモの仲間がみられるようになります。

見た目がふっくらとしており、お尻を振りながらよちよち歩く姿が可愛いカモですが、水面でエサをとるタイプ「水面採餌（すいめんさいじ）」ともぐってエサをとるタイプ「潜水採餌（せんすいさいじ）」の2種類の行動パターンに分けられます。

「水面採餌」をするカモは、主に水面に浮いている水草や植物の種子をくちばしですくい上げて食べます。もぐることは得意ではないため、お尻と足だけを水面に出し首の届く範囲の水草を食べます。

一方で「潜水採餌」をするカモは、主にもぐってエサを食べます。池や川の底近くに生えている植物や貝類を探し当てたり、泳ぐ魚などを狩ることもできます。エサを捕る時に入った場所とは違う場所から出てきます。これからカモが良く見られる季節になってきます。見ているカモがどんな動きをしているのか、観察してみてもいいかもしれません。



←「水面採餌」をする
マガモ

「潜水採餌」をする→
キンクロハジロ



秋から届く花の手紙

9月になると、だんだんと涼しく過ごしやすい日が増えてきました。8月に小鳥の森でたくさん鳴いていたセミたちも、少しずつ声の勢いや数が減ってきました。

実りの秋とは言いますが、小鳥の森は実もさることながら秋の花も咲き競っていました。

十字に白いがく片の中央から雌しべと雄しべが突き出すように伸びるセンニンソウ。縦に延びる長い茎に黄色く小さな花をぽつぽつと咲かせるヒメキンミズヒキ。また秋の七草のひとつ、ハギの花が園内の至る所で咲いていました。

春夏の小鳥の森は、トチノキやツツジの仲間、ヤマユリなど大きな花が目立っていましたが、秋は小ぶりの花がたくさん咲いている印象があります。皆さんの家の周りやいつもの通る道はいかがですか？秋からの手紙が届いているかもしれませんよ。

→ハギの仲間

→センニンソウ



スタッフだより

センボンヤリ

漢字で書くと「千本槍」。春と秋に花を咲かせますが、それぞれ違った姿をしています。

春の花は花びらの上が白色、裏は淡い紫色をしています。秋はガラリと変わり、つぼみが固く包まれた閉鎖花（へいさか）（開花せずにつぼみのまま受粉する花）を付けます。

また、花茎（かけい）の長さも春は15cm程度なのに対し、秋は30-60cmにもなり、全く別の植物のようになります。「センボンヤリ」の名前は秋の姿からきており、長く伸びた花茎の先に付いた閉鎖花が大名行列の毛槍のように見え、群生することからついたと言われていています。

閉鎖花をつける植物は他にもあります。探してみませんか。



左：センボンヤリの花（春）

右：センボンヤリの花（秋）

（レンジャー ながとまゆみ）

イベント報告

9月の観察会報告

9月9日（金）に「秋の植物観察会～入門編～」がありました。小鳥の森で見られる花を中心に園内を散策しましたが、実りの秋ということもあり木の実も含め観察しました。ハギの仲間やヤマジノホトトギス、ガマズミなど16種類の花や実を観察することができました。

また、9月11日（日）に福島きのこの会との共同開催として、「きのこの観察会」を行いました。小学生～大人10名の方々が参加し、きのこを同定（種類を特定）する際のポイントや注意点などを学びながら観察を楽しみました。



秋の植物観察会



きのこの観察会

* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2022年10月号№437 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / NPO法人野鳥の会ふくしま 小鳥の森HP

